

県大短期留学生 日本文化を体験

高知市の土佐女子中高

高知県立大に短期留学している米国の大学生4人が1日、高知市の土佐女子高校を訪れ、茶道や書道、着付けなどを体験し、生徒と交流した。

米東部マサチューセッツ州にあるエルムズ大学の4人で、5月27日～6月9日の日程で高知に滞在している。同大学と県立大は互いに短期で学生を受け入れており、新型コロナウイルスの影響で米国からの留学は4年ぶりとなった。



筆で漢字を書き上げて喜ぶ米国の大学生ら
(高知市追手筋2丁目の土佐女子中高)

この日、同中高では書道部員8人が指導。初めて毛筆を手にした4人は、「ゆっくり」「うまい」と声をかけられながら漢字を練習し、「愛」「猫」「海」「金」など好きな1字を書き上げた。さらに浴衣を着付けてもらった。茶室での茶道も体験した。

シャーロット・ミシヨードさん(21)は3年前に米国で県立大生と交流。ドライヤーで毎日髪を乾かすといった習慣や「ただいま」「お帰り」といった言葉を知っ

て日本に関心を持ったという。「書道は決まった手順で行うダンスのようで楽しかった。オンラインではできない経験ができてうれしい」と話していた。

(加藤風花)